

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ファーストステップ堺		
○保護者評価実施期間	6年 9月 1日		6年 10月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	6年 9月 1日		6年 10月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	6年 10月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案は個々に立て困っていることなどを話し合う場を設けている。 実践後、振り返りを行い必要の際は問題点から改善することへの話し合いを行ってさらに結果どうだったかも話しています。	プログラムは毎日指導案をたて、前後日の内容も確認しながら様々な活動ができるよう心がけています。また特性や課題によってねらいをもってマンネリしないように内容の見直しも行っていきます。	年間防災訓練や月1回の避難訓練の内容の見直し。 実際に行ける際の流れや児童・スタッフそれぞれに常に災害を想定した動きで訓練を遂行すること。
2	経営母体が比較的大きく、研修制度が充実しています。 様々な研修内容の中で自分自身の見直しや向上にも繋がり役立っています。また、そのグループ内で大型イベントを企画し、家族参加の機会を提供し保護者様	バリアフリーになっていませんが、職員が全て室内を見渡せるスペースで活動しています。児童が移動する際には職員と一緒に行動し安全に配慮したり、怪我を防止するためのクッション材などは使用する等危険リスクのある場所は工夫し定期的に職員間で見直しを行うようにしています。	保育園・幼稚園や日常的に通う園との間で児童の状況等の情報共有のための話の場を作ったり、保護者にも面談時にその様子も共有できるようにしていくこと。
3	送迎の際に保護者様と話す機会はとても大切にしています。連絡帳だけでなく相談内容によりお時間を調整し場を設けて状況確認や共通理解を図るよう努めています。	連絡帳やフォト以外、送迎時の機会にご相談やお悩みをいただいた際だけでなく、定期的に個別に傾聴し努め必要な情報や助言等丁寧な対応を随時行っていけるように統一しています。	個別支援計画において保護者の方に支援の意向を確認したうえで「本人支援」を主に一人ひとりのニーズに合わせ具体的に支援内容を設定していくこと。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への事故防止マニュアルや防犯マニュアルなどの内容周知や事故等の発生がある際は迅速に対応し、説明等も丁寧に行うよう、体制としても引き続き整えるよう努めていきます。	定期的にマニュアル整備を行う中で、施設内訪問時に見ていただけるよう掲げているだけは気づかない部分もあり、また様々な活動に合わせた環境設定と人員の配置を考慮する中で、体制としての周知や保護者に共有がしっかりとできていない。	年に1度年度始まりに施設内の設置と同時に保護者様に向けた資料内容の配布等で周知するよう取り決めて実施することを検討する。
2	保護者の意見を吸い上げながらより良い方へ改善策を考えていくこと。	保護者との対話のなかで意向等確認した内容や直接聞き取りした際の内容も詳細に日頃から全スタッフが共有できているかは足りない部分がある。	日頃からの保護者と話の中でも全スタッフが細かく共有できるようにすること、小学校や放課後等デイサービスへの引継ぎや紹介など日ごろから保護者の意向をヒアリングし、就学に向けた相談や助言等も行えるようにしていきます。
3	地域との連携や保育所・認定こども園、幼稚園等との交流はもてていない。	相手先が外部からの訪問や交流の場を作ることへの意向の確認をしていない。	日頃より地域の中で交流がもてるように、イベントやきっかけなどで訪問する機会から検討する。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ファーストステップ堺

公表日 年 月 日

利用児童数 6年 9月 1日 回収数 15

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14		1		・子どもの人数の割に狭いと思う。	様々な活動に合わせた環境設定と人員の配置を考慮しています。整理整頓を心がけてスペースの面では活動内容によるレイアウトの工夫ができるよう今後も行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14			1	・子どもと先生の人数を把握していないのでわからない	日によってバランスが合わない日があってもプログラム内容から職員の配置も決め、十分に支援できるようその都度声を掛け合っています。今後余裕をもった職員配置は検討していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		1	・満足しています。	バリアフリーになっていませんが、職員が全て室内を見渡せるスペースで活動しています。児童が移動する際には職員と一緒に行動し安全に配慮し危険リスクのある場所は工夫し定期的に職員間で見直しを行うようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				・満足しています。	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・満足しています。	プログラムは毎日指導案をたて、前後日の内容も確認しながら様々な活動ができるよう心がけています。また特性や課題によってねらいをもってマンネリしないように内容の見直しも行っていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				・満足しています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1			・満足しています。	保護者の方に支援の意向を確認したうえで「本人支援」を主に一人ひとりのニーズに合わせ具体的に支援内容を設定しています。計画作成時にはスタッフ間でも目標内容の意見交換をしその中で検討するようにしています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				・満足しています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14			1	・満足しています。	全職員が立案に参加し相談・助言等役割り分担したローテーションを組んで行っています。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域での子どもと活動する機会がありますか。	9	1	3	2		現状ありませんが、保護者様のご意向を踏まえて交流の機会が作れるよう検討していきます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				・満足しています。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1			・満足しています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15				・満足しています。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	3			・満足しています。	連絡帳アプリ・フォト以外に送迎の際に保護者様と話す機会はとでも大切にしています。連絡帳だけでなく相談内容によりお時間を調整し場を設けて状況確認や共通理解を図るよう努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	2		・定期的とはいえない	連絡帳や送迎時の機会にご相談やお悩みをいただいた際だけでなく、定期的に個別に傾聴し努め必要な情報や助言等丁寧な対応を随時行っているように統一していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1		1	・満足しています。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	2	3	・きょうだいへの支援は未経験です。	大型イベントで家族参加の機会を提供し保護者様の同士の交流や連携の機会を支援しています。今後も保護者様のご意向を確認しながら検討していきます。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			1	・満足しています。	随時、迅速に対応し必要な体制を整備するよう努めています。またできるだけ意向に沿って早い回答ができるよう心がけています。
20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15				・満足しています。		

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15				・満足しています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			2	・確認できない	個人情報は鍵付き書庫に収納し日ごろから取り扱いに配慮し厳重に管理しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1		4	・未確認なものもある	マニュアルはすべて準備し保管し共有しています。スタッフの研修も定期的に読み合わせや見直しなども行います。発生時に安全な避難行動がとれるよう引き続き取り組んでいきます。保護者への周知についても引き続き説明対応していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			3	・安心しています。	児童含めて月1回の避難訓練と年間計画で適宜緊急時に備えた対応をの訓練を行っています。非常避難用具や備蓄品の確認も行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			1	・満足しています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			2	・満足しています。	事故等の発生がある際は迅速に対応し、説明等丁寧に行うよう、体制としても引き続き整えるよう努めています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15				・信頼していると思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15				・喜んで通所しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				・感謝しています。いつもありがとうございます！	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ファーストステップ堺		公表日			
			年	月	日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	パーテーションの利用	バリアフリーではない
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		パーテーションで仕切っている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6			振り返りの際に問題点から改善点への話し合いをしていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		話し合う機会を設けている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		6		保育園と幼稚園のみになっている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			きょうだい同志の交流は運動会等のみになっている
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		周知・訓練がおこなえていない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		6			身体拘束を行う機会がない